

# ズバリ 町政を問う!

## 一般質問とは?

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を質したり政策を提案することを一般質問といいます。  
発言時間は1人答弁含め、60分以内としています。

タイトル: 熊野東中学校2年 山本 京佳さん

ただ

皆さんの「暮らし」にかかわることを、議員が質問をしました。

ページ	質問者	質問事項
7	中島 数宜 議員	1. サロンの活性化に向けた支援は 2. タブレット教育の現在の状況は
8	水原 耕一 議員	1. ゼロ・ウェイストに対する町の考えは 2. おでかけ号の今後の方向性は
9	沖田 ゆかり 議員	1. 重層的支援体制の整備を 2. 熊野の子どもは熊野で育てる教育を
10	光本 一也 議員	1. 「危険な通学路」箇所数、安全対策は 2. 特殊詐欺の現状と被害防止対策は
11	福垣内 邦治 議員	1. 広熊トンネル熊野出口付近の直進2車線化を求める 2. 今後の県道矢野安浦線の延伸は
12	荒瀧 穂積 議員	1. 県道矢野安浦線バイパス延伸。町長の所見は
	諏訪本 光 議員	1. 県議会、筆製造技術を県文化財へ。熊野町は

※ 紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。  
また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。  
なお、熊野町議会のホームページ (<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>) から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。



中島 数宜 議員

## Q サロンの活性化に向けた支援は

A 町長

現在の補助事業の中で工夫していただき、各地域の実情に沿った取り組みを願う。

【A2】 地区社協には、町の補助事業として町社協を通じ、参加者数等に

【Q2】 サロン参加者に増加の特典を付与する取り組みはできないか。

【A1】 行動制限も少しずつ緩和されているが、第6波の感染拡大への不安もあり、すぐに元の状況に戻るの難しい。感染対策を行いながら粘り強く参加に向けた声掛けを継続的に行っていただきたいと考えている。現在の補助金の中で事業を進めていただきたい。

【Q1】 新型コロナウイルス感染拡大により、サロン活動への参加者が減少傾向にある。地方創生臨時交付金等を活用し、参加者増加の支援ができないか。

応じて補助を行っている。また、コロナ禍の活動自粛の期間も減額せず満額交付していると聞いている。各地区社協で工夫を凝らした活動を検討いただきたい。

【Q3】 このような状況が続くと地区社協のサロン活動が存続できなくなるのではないかと危惧している。

【A3】 町社協も補助金の在り方について検討している。町社協と一緒に知恵を絞っていききたい。



▲ サロン活動

## Q タブレット教育の現在の状況は

A 教育部長

端末操作にも慣れ、自分の考えや意見を積極的に発表する姿が見られる。

【Q3】 東京都ではネットを利用したいじめが発生し、女児が自殺したとの報道がある。

【A2】 小学校4年生以上には、夏休みに家庭に持ち帰らせ、夏休みの課題に取り組みさせる等、コロナ禍においても学びを止めない取り組みを進めている。

【Q1】 児童生徒宅の通信環境は整ったか。

【A1】 今年の5月に通信環境のアンケート調査を行った。通信環境がない世帯は48世帯であった。「熊野町就学援助世帯通信環境整備費等補助金交付要綱」を制定し、整備できるような体制を整えた。

【Q4】 端末での入力が進むと書く力がなくなっていくのではないか。

【A4】 学力向上には書くことも重要である。手書きが不慣れた低学年は国語科等手書きを中心とした授業に取り組んでいる。

【A3】 ガイドラインの遵守、セキュリティ対策・指導はどのように取り組んでいるか。

事件を誘発した原因にチャット機能とパスワードの管理が挙げられている。町が貸与している端末はチャット機能に規制をかけ、中学校では個別パスワードの管理を行っている。



▲ タブレット端末を利用した授業